

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 岡山県高梁市  
 本事業の担当部局名 企画財政部秘書企画課

事業メニュー		結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業					
区分		一般メニュー					
関連事業メニュー		3.1.2 ICT活用、官民連携等による結婚支援等の更なる推進のための調査研究					
個別事業名		高梁市見える化ツール活用分析事業				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	新規
実施期間		令和8年4月1日		~	令和9年3月31日		事業開始年度 令和8年度
総事業費(A)(円)		4,595,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 4,595,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		4,595,000					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計	
	総事業費	4,595,000	0	0	0	4,595,000	
	対象経費支出予定額	4,595,000	0	0	0	4,595,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその位置付け		<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通                      本市では出生数の減少と20代、30代の流出が顕著で大きな課題となっており、令和8年度からの新たな総合計画では、20代の若者世代や30歳から44歳までの女性の流出抑制、転入促進に重点的に取り組むこととしている。施策では、出産から子育て期までの医療費助成や相談体制の充実、保育・教育環境の整備など、各種子育て支援に取り組むとともに、出会いや結婚の支援のほか、若い世代を含めた定住を促すための空き家情報バンクの取り組み、奨学金返還支援の取り組みなど、少子化対策を総合的に進めている。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;                      近年20代から30代にかけての人口流出が著しく、比例して出生数の減少も歯止めが利かない状態にある本市において、本事業に取り組むことで、現状では把握しきれない少子化に関する課題等を浮き彫りにし、より効果的な施策の立案につなげる。</p>					
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	調査・分析事業	専門機関へ現状について本市独自の調査分析を依頼し、専門家による伴走支援により分析結果に基づく政策形成に至るまでの委託を行う。 【フェーズ】 ①ナレッジ共有②実情把握、課題想定③本質整理④施策の検討・立案				
	2						
	3						
		<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	ファミリー・サポートセンターの提供会員・両方会員数		人	42 (R12年度)	31 (R6年度)
	子育て支援センター利用率		%	50.0 (R12年度)	32.1 (R6年度)
	支援制度を利用して整備された世帯向け賃貸住宅等の戸数		戸	100 (R12年度)	81 (R7年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.08 (R5年)	
	婚姻件数		件	56件 (R5年)	
	婚姻率			2.1 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	本事業の実施により立案された事業の数	事業	3 (R8年度)	-
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	---	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	ロジックフローに基づき事業化された施策の数	事業	1 (R8年度)	-
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					